

御名のリバイバル・・・イエス



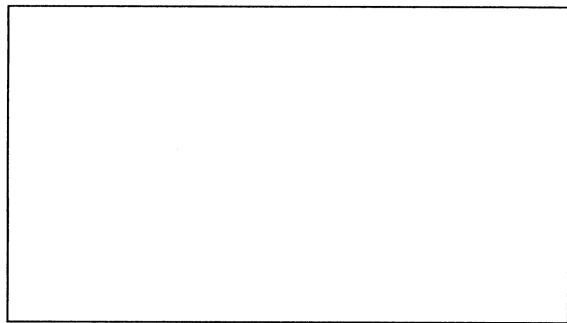
聖書と

AD33-100年の初期教会の

教えと行いに関する

歴史的証拠に基づく

水のバプテスマ



## バプテスマ

主イエス・キリストの御名によって

バプテスマを受けるときは、全身浸礼を受けるべきでしょうか、滴礼を受けるべきでしょうか？

イエスの最後のメッセージはすべての国民にバプテスマを施せという命令でした。  
(マタイ28:19)

使徒たちによる最初のメッセージはすべての人がバプテスマを受けるべきであるというものでした。(使徒行伝2:38)

バプテスマは大切なものですから聖句に従ってなされなければなりません。

下記は全身浸礼に関する聖句のリストと滴礼に関するリストです。

全身浸礼	滴礼
<p>★水がたくさん ヨハネもサリムに近いアイノンで、バプテスマを授けていた。そこには水がたくさんあったからである」 (ヨハネ3:23)</p> <p>★水の中に 「ピリポとかん官と、ふたりとも、水の中に降りて行き、・・」 (使徒行伝8:38)</p> <p>★水から上がると 「ふたりが水から上がると、」 (使徒行伝8:39)</p> <p>★水で埋葬される 「・・バプテスマによって、彼と共に葬らたのである」 (ローマ6:4)</p>	

疑いなく初期教会は全身浸礼のバプテスマを教え、行いました。パウロは言いました。「しかし、たとわわたしたちであろうと、天からの御使であろうと、わたしたちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その人はのろむべきである」(ガラテヤ1:8,9)

もしあなたのバプテスマのやり方が聖書の中に見出だせないとしたら、それを行うのが心配ではありませんか。

初期教会はマタイ28:19にあるキリストの命令をどのように解釈したのか。

その答えは使徒行伝2:38、8:16、10:48、19:5にあります。もし聖書の記録だけでは十分ではないと思われるなら、どうぞ教養のある人、学者、歴史家たちの結論を見て下さい。

ブリタニカ百科事典11版 第3巻 365頁

—バプテスマは2世紀になってからイエスの御名から父と子と聖霊という言葉に変えられた。(→イエスがいた時からAD100年頃まではずっとイエスの御名によって行われていた)

ケニー宗教百科辞典 53頁

—初期教会は2世紀になるまで主イエス・キリストの御名によってバプテスマを施した。

ヘイスティング宗教百科辞典 第2巻

—クリスチャンのバプテスマは「イエスの御名によって」行われていた。(377頁)  
バプテスマはジャスティン・マーターの時代まで常にイエスの御名によってであった。(389頁)

ガトリック百科事典 第2巻 263頁

—著者たちはバプテスマのやり方が彼らの教会によって変えられたのを認知した。

スカフ・ハーゾグ宗教百科事典 第1巻 263頁

—新約聖書ではイエスの御名によるバプテスマしかない。

ヘイスティング聖書辞典 88頁

—マタイ28:19にある三つの名は初期教会によって用いられてはおらず、イエス、イエス；キリスト、主イエスの御名が用いられていたことを知るべきである。

水のバプテスマのとき、それを受ける人に対してイエスの御名を言って(呼んで)施すことは絶対大切なことなのか。

この質問の答えとして、どうぞ使徒行伝15:17とヤコブ2:7を読んでください。1世紀のクリスチャンたちは水のバプテスマの際にイエスの御名を呼びました。マタイ28:18、使徒行伝4:12、コロサイ2:9を読んでください。ユダ3節は「聖徒たちによって、ひとたび伝えられた信仰のために戦うことを勧める」と言っています。ガラテヤ1:8,9も見てください。キリストと使徒たちが定めたものをあえて変えよう人がいるのでしょうか。